



県水にだより



第239号

令和3年9月1日(水)

年4回発行

4月・5月・9月・1月

目次 2面 おしえてポタリちゃん!～防災編～ / 3面 停電時でも給水できる水栓があります / 4面 お知らせ

9月1日は“防災の日”です

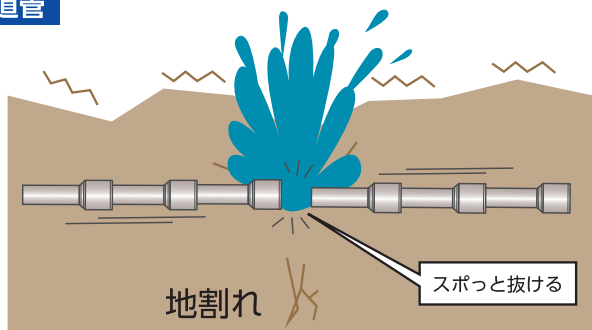
東日本大震災では、平成22年度末時点の給水戸数1,352,893戸のうち、減断水戸数は最大で177,840戸にのぼり、約13%にもなりました。この教訓を踏まえ、給水区域全域に耐震管の採用を決定するなど、様々な危機管理対策を講じています。

なぜ耐震管は地震に強いのか

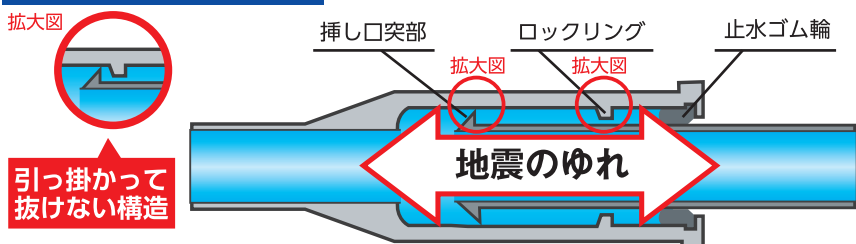
千葉県営水道では、平成18年度から耐震継手管を全面的に採用し、管路の耐震化に取り組んでいます。

耐震継手管は、水道管と水道管やバルブ等を接続する継手に、抜け出し防止機能等を有する継手を採用した水道管です。地震による地盤変位等が発生した場合でも、水道管の継手部の抜け出しを防止でき、管路の安全性を確保することができます。

古い水道管



耐震管：離脱防止機能あり



地震による揺れに対して水道管が伸縮・屈曲する。それとともに、ロックリングと挿し口突部のかかり合わせで、水道管をつなぐ継ぎ手部分の抜け出しを防ぐ

どこを優先的に取り替えているのか

管路の耐震化に当たっては、東日本大震災で液状化被害が多発し甚大な管路被害が生じた湾岸埋立地域の管路や、災害時に拠点となる重要施設に給水する管路の耐震化を優先的に進めています。

～震災の記憶～

下の写真は、浦安市立高洲中央公園にある耐震性貯水槽のマンホールです。大規模災害時に市民の飲料水を確保するために設置された耐震性貯水槽が、東日本大震災による液状化現象が想定を超える大きなものであったため、浮き上がってしまったものです。

浦安市では、東日本大震災の記憶を風化させることなく、様々な教訓とともに後世に伝え、災害に強いまちづくりを誓う象徴として保存しています。



新型コロナウイルス感染症の影響により、水道料金のお支払いが困難な方は、水道をご利用いただいている地域を担当する水道事務所・支所にご相談ください。

千葉県営水道 支払猶予 | Q | で検索